

編集後記

紀要第5号は10月12日を締め切り日として投稿を募集したが、例年より応募が少なく、急きょ委員会を開いて対策を協議し、2次募集を行うことにした。初めてのことである。その結果、12月10日の期限までにかなりの投稿があつて合計で例年を上回る件数を数えることができ、ほっとしたものである。しかし2次募集に応募された方は印刷日程の関係で修正が出た場合は次号回しとせざるを得ず、何人かの先生方にはご了解を得た上でそのようにさせて頂いた。

投稿の内容が幅広いジャンルにわたって多彩であるのは毎回の特徴であるが、それに加えて今回は形式的にも新しいものがある。論文ではあるがその研究の成果を設計としてまとめたものと、作品ではあるがそれを通じてダイナミックなコミュニケーションのしかたを開発したものがそれである。つまり論文と作品にまたがる性格のものであり、本学部の研究のあり方として好ましいことと思っている。

表紙デザインはデザイン学科の金子助教授にお願いした。大きくは前号までの方向を継承しながら新しい、新鮮なイメージのものとなった。この場を借りて金子先生に感謝申し上げたい。

第6号にも優れた論文、作品を寄せられるよう委員一同期待している。

平成11年3月

紀要委員会 委員長 森 典彦

東京工芸大学芸術学部紀要 Vol. 5

1999年3月31日 発行

編集 東京工芸大学芸術学部
紀要委員会

発行 東京工芸大学芸術学部
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印刷 有限会社 啓文堂 松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12